

一般社団法人日本作業療法士協会学術部主導型研究
精神障害領域

統合失調症に対する個別作業療法に関する研究

本研究は、以下の研究1～4によって、統合失調症に対する個別作業療法の効果を検証する

- 研究1: 統合失調症の新規入院患者を対象に、認知機能及びその他のアウトカムに対する個別作業療法の効果をランダム化比較試験によって検証する
- 研究2: 入院1年以内に退院した患者を対象に、退院1年後・2年後に入院時の個別作業療法による認知機能及びその他のアウトカムの変化の持続性を検証する
- 研究3: 入院1年以内に退院した患者を対象に、再入院に対する個別作業療法の影響を退院後2年間の前向きコホート研究によって検証する
- 研究4: 入院1年以内に退院した患者を対象に、入院時の個別作業療法の費用対効果を入院時及び退院後2年間の追跡調査によって検証する

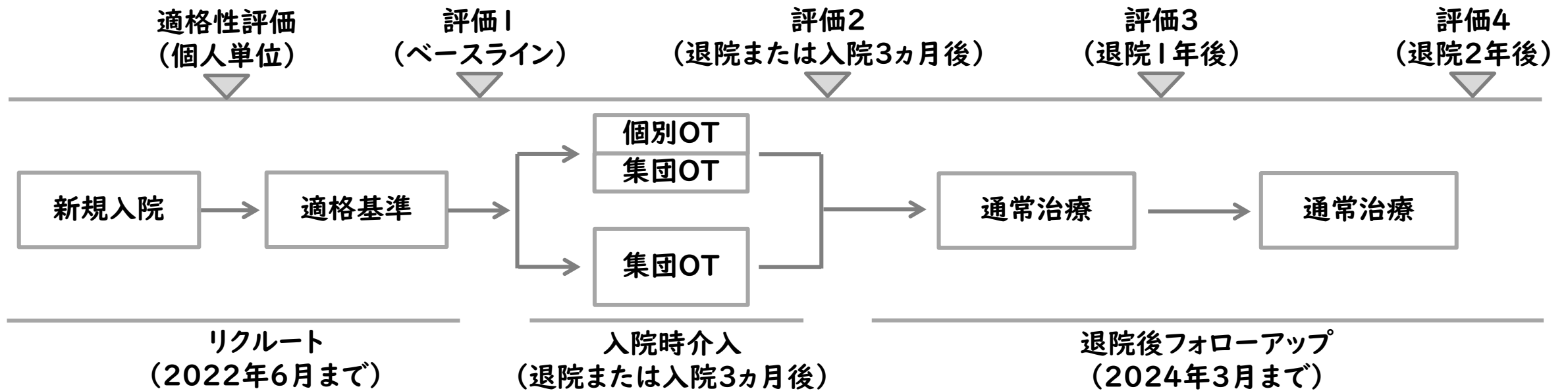
試験の概要

研究1: 認知機能に対する個別作業療法

研究2: 入院時の個別作業療法の効果の持続性

研究3: 再入院に対する個別作業療法の影響

研究4: 入院時の個別作業療法の費用対効果



- 評価1: BACS、QLS、EQ-5D-5L、LASMI、PANSS、mGAF-F
- 評価2: 評価1、CSQ-8、退院情報、入院期間、OT期間、OT回数、入院医療サービス利用・費用
- 評価3: 評価1
- 評価4: 評価1、再入院情報、生活状況、外来治療、障害福祉サービス、入院・外来医療サービス利用・費用、QALYs

試験の体制

研究担当	メンタルサポートそよかぜ病院	島田岳
	札幌医科大学	森元隆文
	神奈川県立保健福祉大学	長山洋史
	信州大学	小林正義
研究協力	岩見沢市立総合病院	曳田憲昭、森元隆文
	大阪河崎リハビリテーション大学、水間病院、東香里病院、東香里第二病院	井上貴雄、大類淳矢
	岡山県精神科医療センター	赤澤将文
	紀南こころの医療センター	愛須香織
	共和病院	朝倉起己
	神戸大学	胡友恵、橋本真由美、栗原友希、西村優子、四本かやの
	榊原病院	鬼頭亜希
	醍醐病院	児嶋亮、西谷美保子、小林英美子、西田百合香
	千曲荘病院	河埜康二郎、芳賀彩織
	名古屋大学	川村匡史、星野藍子
	林下病院	中村直子、森元隆文
	メンタルサポートそよかぜ病院	島田岳、伊藤翔子、眞壁彩、山主あゆ美、竹中愛実、宮阪苑子

個別OTと集団OTの比較

	個別OT	集団OT
基本方針	<ul style="list-style-type: none">・ 退院後の生活を想定した目標指向的アプローチ	<ul style="list-style-type: none">・ プログラムを任意に選択する活動指向的アプローチ
目標・計画	<ul style="list-style-type: none">・ 評価結果に基づき目標と計画を共有・ 合意をもとに治療への主体的な参加を促進	<ul style="list-style-type: none">・ 本人の希望に添って希望するプログラムを選択
形態	<ul style="list-style-type: none">・ OT時間・頻度の半分以上を1対1で実施	<ul style="list-style-type: none">・ 集団治療として実施（パラレルな場を含む）
時間・頻度	<ul style="list-style-type: none">・ 対象者の状態にあわせて設定・ 短時間から2時間、週3から5回に漸増	<ul style="list-style-type: none">・ 時間と頻度は対象者が任意に設定
面接	<ul style="list-style-type: none">・ サブプログラム毎に実施・ 主観的体験、効果、改善点などを振り返りの面接で確認し、新たな目標・計画を共有・ 治療への主体的な参加を促進	<ul style="list-style-type: none">・ 必要に応じて実施
クラフト活動	<ul style="list-style-type: none">・ 作業療法士の個別指導・ 作業手順の確認、説明図や見本との照合、正確な作業遂行（材料、道具利用）・ 認知機能を多用するインテンシブな介入	<ul style="list-style-type: none">・ 任意での実施・ 対象者の理解による説明書の使用
他のサブプログラム	<ul style="list-style-type: none">・ セルフモニタリング・ 訪問指導・ 個別心理教育・ 退院時プラン	<ul style="list-style-type: none">・ 通常の集団OTプログラム

個別OTの仮想例

